

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月4日

【評価実施概要】

事業所番号	0172900672		
法人名	東光ヘルパーステーション 株式会社		
事業所名	グループホーム みのり		
所在地	北海道旭川市永山3条18丁目1番5号 (電話) 0166-48-2123		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年10月21日	評価確定日	平成21年11月20日

【情報提供票より】(平成21年9月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年7月6日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	27人	常勤	12人, 非常勤 15人, 常勤換算 14人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	一人部屋 27,000円 夫婦部屋 40,000円	その他の経費(月額)	9,900~15,900円	
敷金	有() 無()			
保証金の有無(入居一時金含む)	有() 無()	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	450円	昼食	450円
	夕食	450円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(9月30日現在)

利用者人数	18名	男性	6名	女性	12名
要介護1	2名	要介護2	6名		
要介護3	6名	要介護4	4名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 82.7歳	最低	71歳	最高	99歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	都丸内科クリニック クリア歯科クリニック
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

1階に訪問看護ステーションとデイサービスがあり、2階がグループホームで運営者及び職員全員が利用者に「安心して過ごせる場所を提供する」を心掛け日々、研鑽を積んでいます。職員はそれぞれが重要な役割を担い、排泄管理、行事担当、掃除整理整頓担当、食事メニュー作り、おやつレク担当、実習生指導、感染予防・口腔ケア、ヒヤリハットの担当制が取られスキルアップにもつながっています。また、利用者の体調確認とコミュニケーションを目的とした、朝・夕2回の足浴を実施し利用者一人ひとりとしっかりと向き合う機会を作っています。毎年、催されている「みのり祭り」は本年度7回目を迎え、多数の地域の方々や家族が参加され交流機会として定着しています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題として、自己評価表の取り組みでしたが、今回は職員間で話し合わせ全職員が参加して管理者がまとめて作成しており、改善に取り組んだことが確認されました。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、普段のケアを振り返る機会と捉え、職員間で話し合わせ全職員が参加し、管理者がまとめて作成しています。外部評価の結果については、職員で話し合い、評価を活かした具体的な改善に取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、おおむね二カ月に一回実施されています。主な議題は運営推進会議について 利用者の利用状況の報告 SOSネットワークについて 火災等の非常災害に関して ボランティアに関して
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の来訪時に、意見や不満、苦情を言いやすい雰囲気作りを心掛け、その都度利用者の健康状態や近況を伝えています。3ヶ月に一度の「みのり新聞」で暮らしぶりや行事の様子を写真入りで掲載し送付しています。また、運営推進会議で意見交換が行われ、出された意見は、真摯に受け止め運営に反映されるように取り組んでいます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日常での散歩の際に交わされる挨拶や毎年開催される「みのり祭り」で家族や町内会・地域住民が多数参加し交流が図られています。また、専門学校や大学の看護学科の生徒の実習の受け入れを行っています。現在、地域の保育園児の来訪を促す働きかけが行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームとして地域密着型サービスの意義を確認し、利用者・職員・地域住民との共生を目指した「利用者様の想いを中心に共に生活を築いて行く」を理念として構築している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全職員の名札の裏に基本理念を記載しており職員が判断に迷った場合は常に理念に沿ったケアが実践できるように話し合いが持たれ、統一したケアに日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日常での散歩の際に交わされる挨拶や毎年催される「みのり祭り」で家族や町内会・地域住民が多数参加し交流が図られている。また、専門学校や大学の看護学科の生徒の実習の受け入れを行っている。現在、地域の保育園児の来訪を促す働きかけが行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、普段のケアを振り返る機会と捉え、職員間で話し合われ管理者がまとめて作成している。外部評価の結果については、職員で話し合い、評価を活かした具体的な改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については町内役員・民生委員・家族・他事業所の介護支援専門員・スタッフの参加により、おおむね定期的に開催されており、ホームの運営方針や火災等の非常時の対応や今後の予定や企画について各委員との意見交換等も行われている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所は、市担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市や地域包括支援センターで開催される研修会等にも一般職員が積極的に参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪時に、その都度利用者の健康状態や近況を伝えている。3ヶ月に一度の「みのり新聞」で暮らしぶりや行事の様子を写真入りで掲載すると共に行事の案内や来訪の際のお願いも載せて送付しており、家族との信頼関係の構築につなげている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ロビーには意見箱を設置し、意見や苦情を表せる機会を設け、家族の来訪時には、意見や不満、苦情を言いやすい雰囲気作りを心掛けている。また、運営推進会議で意見交換が行われ、出された意見は、真摯に受け止め運営に反映されるよう取り組んでいる。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者及び管理者は職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいる。やむなく異動や離職する場合は、職員間で引き継ぎを密にして利用者が不安にならないような説明や対応を心掛け、利用者へのダメージを防ぐ取り組みを行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者は職員の自主性を尊重し、一人ひとりの職員が関心のある内容の外部研修の参加を促し、積極的に参加できる機会を与えている。また外部研修に参加した職員は月1回の定例会議で研修内容を発表し職員全員で内容を共有している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会主催の研修会や勉強会、地域包括支援センター主催の交流会等への参加を通じてネットワーク作りや他事業所との交流なども積極的に行われて、ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、利用前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら時間をかけて取り組んでいる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員はセンター方式を活用し、利用者一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴を家族の協力を得ながら把握に努め、利用者の「尊厳」を大切に本人の気持ちに沿った支えあう関係を築いている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	センター方式を活用し、利用者や本人家族と相談の機会を持ち希望や意向の把握に努めており、それぞれの希望に添った暮らしが実現出来るように支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、センター方式で利用者本位の介護計画が作成されるよう、都度本人や家族または医療機関との話し合いが行われている。必要時には担当者と評価を行い、それぞれの意見が反映された介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、定期的な見直しと都度体調に応じたプランの見直しが行われている。第一に本人の意志を尊重し、家族と十分な話し合いを行い計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	その時々要望に応じて、散歩や買物、通院など柔軟に支援している。また、実習生の受け入れや訪問看護ステーションが併設され迅速な対応がされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を優先し、かかりつけ医と協力し適切な医療を受けられるように支援している。また、訪問看護師とも密に連携が図られている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、家族にできるだけ早い段階から相談しながら医師・訪問看護師と連携して慎重に対応するよう職員間で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳と誇りを損ねないような言葉かけや対応を心掛け、プライバシーや羞恥心の配慮にも注意して支援している。また、記録の扱いについても、十分に注意している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のその日の体調を踏まえ、買い物や調理、食事の準備等、本人のペースに添って支援している。また、本人の気持ちを大切に、自由にリラックスした環境の中で生活できるよう職員全員が共有し、希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事メニューの担当者が季節に合わせた献立や外食の機会、ケータリング等を計画しながら提供している。また、専門の調理職員がおり、利用者が力量に応じ、一緒に楽しみながら食事の準備に参加している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回を基本として希望やタイミングに合わせて柔軟に対応している。また、毎日、朝夕に利用者全員に足浴が実施され、体調に応じて清拭の対応もしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用前の生活歴を踏まえて、日常の中で家事や洗濯物たたみ、食事の盛り付けなどの台所仕事等、得意としていた事をホームで継続して実現出来るように支援している。暮らしの中で「共に役割を持ち、生活の苦楽を共に」をモットーとし取り組んでいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常の散歩や買い物その他、行事担当者が様々な企画を立案して、美瑛のラベンダー見物や東神楽の「花神楽」への温泉入浴、サクランボ狩りなど戸外に出かけられる支援がなされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外出傾向のある利用者には、家族と相談しながら安全に配慮した取り組みが行われている。また、必要に応じて施錠をする際は、家族に十分に説明し理解を得て行われており、施錠を慢性化しないように取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者を中心に緊急連絡網や火災等の緊急時対応マニュアルを作成している。また年2回、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるよう、火災避難訓練を実施し、その際、誘導時における危険な個所の把握などに重点を置き取り組んでいる。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分係りを配置し、4回定時に水分補給の時間を決め、拒否のある方についてはゼリーや果物等を提供して水分が摂れるように工夫している。また、栄養バランスとおおまかなカロリーが把握され、一人ひとりの健康状態に合わせた量や調理の工夫がなされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ベランダには、広いテラスがあり日光浴を楽しんだり、みのり祭りや収穫祭の行事で利用したり、利用者同士談笑できるスペースとして確保され気分転換ができるような工夫がされている。また、ホーム内は季節感が感じられるような飾りつけやソファが配置され、壁には行事や外出の時の写真等が掲示されている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家具類は本人が使い慣れた馴染みの物を持ち込むよう働きかけており、家族との写真や本人の趣味の作品等を飾り居心地よく過ごせる居室の環境作りに努め自宅の延長の場となるような工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。